いわき民報

府公認
いわき民報社發行
電話七一番・振替仙臺八四番
平市田町四一ノ一
印刷人　千葉　一
編輯人　千葉　一
日刊　但日曜ケ月十四回
定價一部五十錢

磐城炭礦
イ一二
磐城炭礦ワン

新衣料切符と點數

發行の時期は十月一日の豫定

二十二年度の一般家庭用せんいの配給計畫および衣料切符の發行については政府の纖維品ストックの僅少と輸入綿の生産減などから行惱んでいたが最近ようやく配給の見透しがついたので近く商工省、經本で正式決定のうえ來る十月一日から衣料切符の發行と配給を實施することになつた

配給數量についてはなお研究中なので確定したものではないが大体次のような割當となる模様である

◎えい兒用＝外衣一着、ハダ着一點、ネル一點◎幼兒用＝外衣一着、ハダ着二點◎學童、中學生徒用から左の六課に改め上＝制服○・五着◎姙婦用＝ネル一枚、サラシ一枚◎引揚者、困窮者、戰災者＝外衣十人に一着、肌着一點、靴下または足袋一足、タオル又は手ぬぐい一本、布團四世帶に一組、毛布二世帶に一枚、蚊帳五世帶に一帳◎非常時災害用＝肌着一點、タオル又は手ぬぐい一本、足袋又は靴下一足、毛布二人に一枚◎勞務者＝用紺織物○・八反または作業衣○・八反または作業衣○・四着、作業手袋○・八双◎一般家庭用＝縫糸十匁、補修布一卷の手續きを急いでいる

從來常磐地區の還別炭は特殊炭は月産二萬噸と云はれているが、積出し輸送關係など考慮し會、縣炭勞協及び茨城縣炭公團、東部石炭鑛業組合に實渡さねばならぬ」と誤傳されているが、還別協組以外に雜炭を取扱うことが出來催の縣賞假裝盆おどり大會もあり全町あげて止法にふれることにも賑つた

市の分課改正

一日から八課を六課に

市では地方自治法により◎庶務課（現狀通り文書、戶籍、庶務の三係設置）◎教育か（教務か改稱、學校教育、社會教育二係設置）◎社會か（現狀通り社會、衞生三係設置）◎經濟か（配給、勸業兩かを併合新設、一係を設置）◎土木か（復興、工務兩かを併合新設、土木、營繕、都市計劃三係設置）◎財務か（現狀通り調査、徵收、會計三係設置）

還別炭七千五百トン

九月の出炭割當正式決定

なり製鹽關係には全然配炭されていない

中國の買收は

絕對不可

川炭の試解一掃

別項還別石炭協同組合の發足に依つて「川炭はすべて獨立の營業がついて懇談、商工局並に配炭公團平支團から出來なく成り、拾ひ集めた石炭は還別古炭組合員に賣渡さねばならぬ」と誤傳されているが、還別協組以外に雜一日行はれたが表町主炭を取扱うことが出來催の縣賞假裝盆おどり大會もあり全町あげて止法にふれることにも賑つた

常磐炭田文化祭

豫選會九日地區で

常磐炭田勞組所年協議ん會を開いて、こゝで云はれているが、積出し輸送關係など考慮し會、縣炭勞協及び茨城縣炭公團、東部石炭鑛業組合實渡さねばならぬ」と誤傳されているが、還別協組以外に雜一日行はれたが表町主炭を取扱うことが出來催の縣賞假裝盆おどり大會もあり全町あげて止法にふれることにも賑つた

振つた湯本

觀音山祭典

湯本町觀音山の祭典は

平勞働基準監督署

初代署長には花野宣夫氏就任

勞働基準法に基いて一日から平勞働基準監督本社署も即日店開きを行いになる初代署長には石城地方勞務所社會課長花野宣夫氏が任命された、事務所は適當な場所が見付かるまで、平職安所と同居するが、所員は二十名程度になるなおされ花野所長は二日各方面に外任の挨拶を行つた

四倉町會

四倉町では二日午前九時から町會を開き本年度豫算二百五十一萬三千五百七十三圓の追加更正について審議した

少年の町

合評

三日夜本社で

けさ試寫會を

地方制度に基いての各部常會委員會正副委員長並に消防及び教育審議會委員を左の通り決定した

映畫入場料

値上げ

大人十五圓に

二日から映畫及び劇場の料金の値上げが實施された映畫は平市が大人十五圓子供十圓その他は大人十圓子供七圓劇場等の觀劇料は五十圓までとある

いわき寸言

◎二百十日も先づ平靜に過ぎたはめでたき限り◎投票、殊に無記名で人の飲點のみ拾うは卑怯◎堂々自己を先づ名乘つての投票こそ價値あるものなると知るべし◎市の分課變る。同時にすべてを一新、よきお好きといわれることと市役所たれと祈る

認可
公 常磐電氣工事工業協同組合

配電會社と緊密なる連絡のもとに一般電氣工事の復興院手續代行及請負を致します
電線割當切符現物化を取扱いますから
常磐電氣工事工業協同組合員の看板を揚てある組合員の店を御利用下さい

理事長　平市白銀町二
理事　藤浪電機工業所　藤浪時康
瀧川電機商會　瀧川寶
富永無線工業所　富永一郎
木村電機商會　木村久彌
瀨戸電氣工業所　瀨戸三郎
長山電機工業所　長山廣之助
齊藤電氣商會　齋藤亨
上川電機商會　上川誠一
馬上電機工業所　馬上隆
長谷川ラヂオ商會　長谷川勝賴
金子電氣商會　金子菊次郎
平ラヂオ商會　曾甫
坂口電氣商會　坂口仙藏
日星製作所　谷山義親
三共社　佐藤哲郎
布施電業所　布施行男
昭和電機商會　布施庸男
株式會社金成電機商會　椎名勘治
市川・郁二
根本三郎
布施電業所　布施行男
昭和電機商會　布施庸男
誠電社　佐誠誠
吉田仁勁
末永電氣商會　末永與祖松
吉田電氣商會　吉田武雄
田村無線電機商會　田村富倍
草野電氣工業所　草野由男
吉村電氣商會　吉村喜一郎
伊藤電機工業所　伊藤武德
小田電氣商會　小田健藏
鈴木電機商會　鈴木吾一郎
梅原正
若松電氣商會　若松久次郎
渡邊重雄
瀧内宏
阿部電機商會　阿部正義
平市仲町町（電六一五）

内科
小兒科
三井醫院
三井五郎

古文書紙上公開

飯野文書解說

猪狩金市郎

一前書き

飯野八幡神社の社司飯野盛男氏の家に、先祖代々保存せられて來てゐるものである。その上、かの所謂南北朝時代、足利氏に關係した書狀などは、文書と呼ばれて、その廣く宗教、經濟、風俗に於ては、知らぬ者も無い程有名なのである。

七百年前、鎌倉時代の初期に當り、時の執權北條時賴の花押が載つてゐる。

飯野盛男氏の家に、先祖代々保存せられて來てゐるものである。

これらの文書が飯野文書と呼ばれて、その廣く宗教、經濟、風俗に於ては、知らぬ者も無い程有名なのである。

その上、かの所謂南北朝時代、足利氏に關係した書狀などは、文書國民の參考にも引用紹介したので、今の學界の性質上、明治以降はてまで「直」なるものを求めてやまぬのが、現代日本の姿である。

その上、かの所謂南北朝時代、足利氏に關係した書狀などは、文書國民の參考にも引用紹介したので、今の學界の性質上、明治以降は、さながら棄て去つてまで「直」なるものを求めてやまぬのが、現代日本の姿である。

その上、かの所謂南北朝時代、足利氏に關係した書狀などは、文書國民の參考にも引用紹介したので、今の學界の性質上、明治以降は、さながら棄て去つの渴望に應へ、知識の鉛木兩氏の御協力も賴もしく、世には私より